

茅ヶ崎市，寒川町，藤沢市におけるタゲリー斉調査 (2010 年度)について

樋口公平¹⁾ 平田稔²⁾

はじめに

タゲリ *Vanellus vanellus* (Linnaeus, 1758) は、チドリ科の冬鳥で、神奈川県レッドデータ生物調査報告書(2006)では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。タゲリの好む環境は、平地の見晴らしのよい水田などで、特に湿田が好まれている。

餌は、水田の土の中のミミズや昆虫類などを主として、他にドジョウやトウキョウダルマガエルなどの記録もある。

都市化の影響による県内の水田の減少は著しく、茅ヶ崎市も例外ではない。平成元年から平成 17 年までの作付面積は 113ha から 53ha と 47%に減少している(神奈川県環境農政部農業振興課作成資料，茅ヶ崎市 2005 年農林業センサスによる)。

県内のタゲリは、10 年程前までは横浜市や三浦市に飛来していたが、水田の減少と共にすでに飛来が途絶えており、茅ヶ崎市，藤沢市，寒川町の湘南地域の越冬地は、東京以西においては東京に最も近い越冬地となってしまった。

調査地でのタゲリの渡来数は水田の減少や、都市化による開発などの影響を受け、急速な減少傾向であり、「茅ヶ崎版レッドデータリスト」(2006)では絶滅危惧種に位置づけられた。

減少し続けているタゲリの越冬状況を把握し、保護していくためのデータ収集を目的として、タゲリー斉調査会では 2000 年から毎年茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市でタゲリの越冬個体数や移動ルートの調査を続けてきたが、2010 年度も引き続き調査を実施した。

以下にその結果を報告する。

※「タゲリー斉調査会」の構成メンバー

茅ヶ崎野外自然史博物館，三翠会，日本野鳥の会 神奈川支部，神奈川県自然観察指導員連絡会，寒川エコネット，地域の市民などの有志

1. 調査日時

2010 年 12 月 19 日 10:00～12:00

調査日は例年通り 12 月の中旬で統一した。

2. 調査地点

合計 13 か所の調査地点を下記のように設置した。

市境をまたがるところはカッコで市町村名を付記する。

・茅ヶ崎市(6 か所)

打戻(藤沢市)・芹沢新道橋付近，芹沢農地改良碑付近，下寺尾西方・一ツ橋，下寺尾北方・寺尾橋・岡田(寒川町)，西久保大町西側・北側(調査本部)，赤羽根

・寒川町(4 か所)

一之宮西・八丁目，一之宮東・大曲三丁目，大曲四丁目・田端，小動旭橋北

・藤沢市(3 か所)

大庭，宮原大昭橋南側，宮原久保田橋

これらの定点は茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町で過去にタゲリの飛来の情報があった場所や、飛来の可能性のある場所、今季に確認情報のあるところを選んだ。また地形としては見晴らしのよい水田地帯を選んでいる。

1) 統廃合した調査地点

タゲリ飛来情報減や調査員減により下記のように統廃合した。

a. 統合した調査地点

- ・打戻(藤沢市)と芹沢新道橋付近(茅ヶ崎市)
- ・下寺尾北方・寺尾橋(茅ヶ崎市)と岡田(寒川町)
- ・大曲四丁目と田端(いずれも寒川町)

b. 廃止した調査地点

- ・西久保ジャンクション高架上

2) 調査員減のなか増員した調査地点

藤沢市宮原地区に前年比 3 名増員し 9 名とした。今季事前確認情報で唯一確認されたのが目久尻川沿いの当地区であったためであり、かつ当地区は広く、調査精度を上げるためでもある。

3)調査本部について

調査本部は、西久保大町とした。

3. 調査方法

以下のとおり従来と同様の方法を取った。

1)定刻一斉調査

10:00, 10:30, 11:00, 11:30, 12:00 に、各調査地点で一斉にタゲリの個体数を数える。

2)移動ルート調査

各調査地点でタゲリの飛来、飛去、通過を確認した場合その時刻、移動方向、羽数を随時本部に携帯電話で連絡し、本部はその移動先と思われる調査地点に連絡する。このことにより、タゲリの移動ルートを掴む。

各調査地点には、タゲリの識別能力の高いリーダーを含む1～3人を配置した。

観察には双眼鏡、望遠鏡を使用した。

4. 調査参加者

【打戻・芹沢新道橋】山口英雄, 山口恭子

【芹沢農地改良碑】山川賀津人, 山川優

【下寺尾北方・寺尾橋・岡田】目黒啓子, 熊沢さえ子

【下寺尾西方・一ツ橋】伊藤修二郎, 竹内陽子

【西久保大町西・北(調査本部)】鈴木國臣, 松本友子, 東海林栄子

【赤羽根】吉田章子, 小林範夫

【一之宮西・八丁目】滝田紘一, 斉藤光男, 渡辺充

【一之宮東・大曲三丁目】小山裕太, 梶山春江

【田端・大曲四丁目】河村まき子, 前迫栄, 嘉藤郁子

【小動旭橋】石井大輔, 小野芳弘, 佐藤守

【宮原大昭橋南側】樋口公平, 黒田清恵, 小島貢

【宮原久保田橋】平田稔, 長井祐樹, 山下一夫

【大庭】濱伸二郎, 浅野牧子

地点名の次に書かれている名前の方が各地点のリーダー役とした。

5. 調査結果(表1)

1)タゲリが確認された調査地点

以下の地点で確認された。

藤沢市：宮原大昭橋南側及び宮原久保田橋で計9羽

2)調査エリアに渡来している個体数の推定

定刻一斉調査の結果は表1のとおりである。2調査地点で合計9羽が確認され続け、少なくとも9羽以上が渡来していることが確認された。

3)移動ルート調査の結果

当初、藤沢市宮原大昭橋南側調査地点で確認された9羽は、10時15分に飛去し、飛翔後、10時20分近隣の宮原久保田橋調査地点に9羽が飛来、移動が確認された。その後も落ち着かず田から田へと歩きながら周辺を移動するも飛去することなく同調査地点で確認でき、調査は終了した。

調 査 地 点	調 査 時 間				
	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00
藤 沢 市 宮 原 ・ 大 昭 橋 南 側	9	0	0	0	0
藤 沢 市 宮 原 ・ 久 保 田 橋	0	9	9	9	9
合 計	9	9	9	9	9

表 1. 時間別確認個体数(タゲリが確認された地点のみ)

6. 考察

1) 地域別の状況について

今回確認された藤沢市宮原の目久尻川流域の水田地帯は、2008 の調査で初めて確認され、3 年連続して今年も確認された。過去に不定期に確認情報があり、過去の一斉調査でも何回か定点としたことがあったが確認されていなかった。この水田地帯は面積も広く、エリア内の休耕田や建造物も少ないため見渡しのよいタゲリの好む環境となっている。安定的な越冬地として利用されている。

一之宮、田端、大曲、萩園、西久保は、一帯となった水田エリアで、過去から中心的な越冬地となっていた。2007 年の調査までは安定的にこの地点で確認されてたが、2008 年初めてこの一帯からの記録が途絶えてしまった。2009 年の調査では記録が復活したがまた絶えてしまった。

岡田、下寺尾両調査地点では 2005 年の調査では記録されたが、2006 年以降今回も未確認だった。

芹沢の小出川上流域は、2001 年度から毎年交互に確認、未確認を繰り返し 2005 年は確認できたが、2006 年以降連続して今年も未確認となった。水田の面積が下流域に比べて狭いことなどから、タゲリが定着しにくい可能性がある。

赤羽根は 2009 年に渡りの初期に確認情報があり、定点として同年から復活したが記録は得られなかった。土地改良事業が終わり、水田がエリアの中央付近にまとめられ、途絶えていた稲作も始まっており、水田に湿り気もあるため復活する可能性も否定できない。

引地川水系の大庭については渡りの時期の初期に通過個体が立寄る情報はあるが、一斉調査では 2002 年度の記録を最後に今回も記録は無かった。

2006 年、2007 年、2008 年には 1 か所ではしか確認できなくなっていたが 2009 年には 2 か所となったが、また今年度 1 か所となった。

2) 確認羽数の推移について(表 2)

2000 年度 65 羽以上、2001 年度 50 羽以上、2002 年度 25 羽以上、2003 年度は 36 羽以上、2004 年度は 32 羽以上、2005 年度は 26 羽以上、2006 年度は 18 羽以

上、2007 年度 13 羽以上、2008 年度 7 羽以上、2009 年 17 羽以上、2010 年 9 羽となり、減少の傾向をたどっている。

3) タゲリの減少と保護について

タゲリの確認地点が再び一か所となり、宮原地区が相模川以東の県内最後の越冬地となっている。その宮原地区も数が減る傾向が出ている。また、今まで中心の越冬地であった茅ヶ崎市を含む小出川中流(一之宮、田端、大曲、萩園、西久保地区)での記録が再び記録が途絶えた。

宮原地区の保全の早期具体化、そして従来の中心越冬地である小出川中流の環境改良とタゲリの誘致を行政や農家とともに進めていく必要がある。

参考文献

- 神奈川県レッドデータ生物調査団編, 1995. 鳥類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書, 140-156.
- 神奈川県立生命の星・地球博物館, 2006. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006, 鳥類. 233-264.
- 茅ヶ崎市, 2006. 茅ヶ崎市自然環境評価調査概要報告「自然環境評価マップで茅ヶ崎の自然を見てみよう」, 36-38.
- 樋口公平・岸一弘, 2002. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2000 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (10):29-31.
- 樋口公平・岸一弘, 2003. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2001 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (11):17-19.
- 樋口公平・岸一弘, 2004. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 横浜市戸塚区におけるタゲリー斉調査(2002 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (12):25-27.
- 樋口公平・岸一弘, 2005. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2003 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (13):1-3.
- 樋口公平・岸一弘, 2006. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2004 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (14):1-3.

樋口公平・岸一弘, 2007. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2005 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (15):11-13.

樋口公平, 2008. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2006 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (17):1-3.

樋口公平, 2009. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2007 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (18):1-3.

樋口公平, 2010. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2008 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (19):11-14.

樋口公平, 2011. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2009 年度)について. 文化資料館調査研究報告, (20):69-72.

- 1) タゲリー斉調査会・三翠会・茅ヶ崎野外自然史博物館・日本野鳥の会神奈川支部
- 2) タゲリー斉調査会・三翠会・日本野鳥の会神奈川支部